

社会科学学習指導案

日 時：平成30年10月10日(金) 5校時

対 象：3年1組 (男子14名 女子26名 計40名)

場 所：3年1組教室

授業者：山田 達

1 単元名 消費生活と経済 「生産と労働」

2 指導計画

時	学習活動	時数	目 標
1	資本主義・株式会社の仕組みと企業の現状について、おおまかにとらえる。	1	株式学習ゲームを振り返り、資本主義経済の大まかな特徴をつかみ、中小企業をはじめとする日本の企業の現状を把握することができる。
2	単元の学習課題設定及び課題解決の見通し(本時)	1	「企業の経済活動はどうあるべきか」について、思考ツールで整理分析し、解決の見通しを持つことによって、これからの学習でどのようなことを学んでいきたいのかを記述することができる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">企業の経済活動はどうあるべきか</div>		
3 4	調査活動1 労働問題から 調査活動2 雇用問題から	2	労働者の立場(雇用者側)から、企業経営の抱える問題点を見つけ、ワークシートにまとめることができる。 雇用問題(経営者側)から日本の抱える問題点を見つけ、ワークシートにまとめることができる。
5	学習課題のまとめと振り返り	1	『企業の経済活動はどうあるべきか』という単元課題についてのまとめ段階としてケース資料を読み、その問題点を整理し解決策を思考ツール(W-KJ法)を使って考えることによって、自分の考えを文章でまとめることができる。

3 本時の指導

(1) 題材名 企業の経済活動はどうあるべきか の課題設定(2/5)

(2) 題材について

① 教材観

この単元は、学習指導要領「公民分野」内容B「私たちと経済」の中のア(1)「市場の働きと経済」『現代の生産や金融などの仕組みや働きなどを理解できるようにするとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。』に関連している。

企業には消費者、また株主や従業員の利益を増進させる役割があり、また公共の利益に配慮する

社会的な責任がある。それに対して個人には社会的分業の一部を担うことによって社会に貢献し社会生活を支える意義がある。この2つの立場は18世紀のイギリスでの産業革命以降、ヨーロッパをはじめとする資本主義社会の中で、常に対立しそしてまた共存してきた。このような状況は現代の日本社会にもあてはまり、我々はその中で生活している。昨今「働き方改革関連法案」が成立し、「働き方」についての考え方が、注目されている。このような中であるからこそ、企業について様々な角度から考察することで、経済がより身近なものとなり、将来の職業に対する意識も高められるだろう。

② 生徒観

青森県学習状況調査 平成29年度

問題の内容	思 判 表	技 能	知 理	活 用	小問別 通過率(%)	本校の到達度
					本校	青森県比
1 時差の計算と表現～日本とロサンゼルス	○			◇	67.9	168
2 複数資料の読み取りによる雨温図の選択～冷帯	○			◇	79.5	143
3 年代の表し方の理解～世紀と西暦年			○		64.1	205
4 複数資料に共通するテーマの表現～世界遺産	○			◇	20.5	109
5 東アジアで関わりのある国の選択～高句麗	○			◇	41.0	121
6 歴史のできごとの並べ替え～平安時代	○			◇	39.7	107
					平均	148

事前調査結果 7月9日実施 (39名)

〈関心・意欲・態度〉

① 世界や日本国内のニュースに関心がありますか
 ある11人 ややある23人 あまりない5人 全くない0人

② 話し合い活動は、自分の考えを深めたり広げたりするのに役立つと思いますか
 はい27人 どちらかといえばはい12人 どちらかといえばいいえ0人 いいえ0人

〈思考・判断・表現〉

① 社会科の学習について、自分に表現する力(発表・文章・レポートなど)が身に付いていると思いますか
 はい10人 どちらかといえばはい24人 どちらかといえばいいえ5人 いいえ0人

② 将来仕事をする上で大切にしたいことは何ですか
 生きがい10人 社会貢献8人 自己実現8人 お金7人
 その他6人(自己表現 楽しむこと 人脈 ことをやる 人づきあい等)

〈技能〉

① 社会科の学習を通して、自分に資料を読み取る力が身に付いていると思いますか
 はい12人 どちらかといえばはい20人 どちらかといえばいいえ7人 いいえ0人

〈知識・理解〉

① 日本の企業の労働環境(働く時間、施設設備、待遇)に対するイメージは
 よい2人
 どちらかといえばよい9人
 ・残業に対する制度がしっかりしている ・プレミアムフライデーなどがあるから
 ・外国に比べ待遇も良いと思うから 等

どちらかといえば悪い27人

- ・残業をなるべくさせない方針の割に仕事をたくさん与えるから
- ・社内での人間関係のトラブル
- ・過労自殺のニュースを耳にする
- ・給料安くて横領するニュースを聞く
- ・パワハラ、セクハラのニュースをよく聞く
- ・労働基準法を守っていない
- ・ブラック企業 等

悪い1人

- ・ブラック企業という言葉がある時点でイメージが悪いから。

② 「働き方改革」について知っていることを書いてください (いくつでも良いです)

理解していると考えられる答え

- ・残業時間最高100時間
- ・今の働き方を変える
- ・過労死が出ないようにする法律
- ・労働時間の上限
- ・残業の制度改革
- ・残業をさせない
- ・労働時間削減
- ・さらに過酷になる人が増えるかも

どちらかといえば理解していると考えられる答え

- ・一日の働く時間を変える
- ・過労死しないように
- ・残業なくして仕事が遅い人を責め立てる
- ・残業なし
- ・退社時間を早める
- ・サービス残業
- ・家族との時間を増やす

理解していないと考えられる答え

- ・わからない
- ・最低賃金?
- ・労働時間8時間
- ・週休2日
- ・スーパーフライデー

生徒たちは授業に非常に熱心に参加し、グループ活動においても、男女間での隔たりはなく協働的に参加し、話し合いによっての高め合いができていていると感じている。また、社会事象に対しても常に自分の考えを持とうとする前向きな姿勢が見られている。

昨年度の青森県学習状況調査からは通過率が低いものを抽出した。低いものは観点別で見ると、思考・判断・表現（活用）である。さらに、歴史的分野は、地理的分野よりも通過率は下がっている。県全体の傾向も同様だが、本校では特に顕著である。歴史のできごとの並び替えの問題など、因果関係による「つながり」が必要な問題に対して苦手意識が高いと考えられる。これを受け昨年度から、単元のまとめの中でのレポート作りや、単元の整理分析の場面での思考ツールの使用により、既習事項との「つながり」や、「活用」を意識した授業作りを行ってきた。次に事前調査の結果から分析すると、社会科の授業を通しての自己肯定感は全体的に高めである【関心・意欲・態度②】。しかし、この中でも社会科に対する意欲と社会事象への関心との「つながり」が弱いと感じた【関心・意欲・態度①】。

③ 指導観

事前調査の結果から、「仕事をする上で大切にしたいこと」が大きく4つに分かれている【思考・判断・表現②】。単元の4時間目での働く意義についての話し合いは、対立や合意を生み出すなど、この単元の学習に深まりを与える有効な手段となるであろう。また、生徒の日本の企業に対するイメージでは、ネガティブなものが過半数を超えている。そのイメージを生かしつつ、様々な角度の情報から生徒の考えを揺さぶり、課題設定へつなげていきたい。そして単元の見通しを持たせた上で、思考ツールを用い対話を通して考えを深め、整理分析を行う。最後の時間での振り返りにおいてはケーススタディーを行い、自分の考えと実生活をつなげて考えさせたい。

単元を通して、授業での学びと、自分の生き方との「つながり」を感じさせることができれば、より深い学びが実現できるものと考えている。

(3) 本時の目標

「企業の経済活動はどうあるべきか」について、思考ツールで整理分析し、解決の見通しを持つことによって、これからの学習でどのようなことを学んでいきたいのかを記述することができる。

(4) 評価規準

「企業の経済活動がどうあるべきか」という単元課題に対して、思考ツールを使用しての話し合いを生かし、これからの学習でどのようなことを学んでいきたいのかを記述できる。

(活動の観察とワークシートへの記述)

(5) 校内研究について

① 研究主題

教科の面白さを感じる授業づくり
～主体的・対話的で深い学びの視点による授業の質的向上を目指して～

② 研究主題に迫るための具体的な取り組み

- 1 インプットしたことをアウトプットする方法の研究
 - a 習得した知識や技能を活用する場を意図的・計画的に設定する。
 - b 目的を明確にした思考ツールの活用を図る。
 - c 目的を明確にした学習形態の工夫を図る。

- 2 課題解決学習の質的向上を目指した授業展開の研究
 - a 生徒にとって自分事となる、必然性のある課題を設定する。
 - b 学習活動の目的や手立て、ゴールを明確にするなど、見通しを持たせる。
 - c 教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせて思考・判断・表現する場を意図的・計画的に設定する。
 - d 自分の考えをもとに、他者との対話を通して多様な考え方に触れ、新たな気付きや思考の深まりが生まれるような場を意図的・計画的に設定する。
 - e 生徒が自分の学びにおける成長や変容を振り返り、次の学びへの見通しや目標をもつことができるような場を適切に設定する。

上記の主題を受けて、社会科では「授業の中に主体的・対話的で深い学びの視点を計画的に取り入れ、授業の質的向上を目指す」ことを研究目標としている。また、「教科の面白さ」について以下のように考えている。

- ① 地理的分野では、地図帳を使いこなし、地図上からその土地の特徴をつかみ、その地域に思いをはせる。
- ② 歴史的分野では、過去の事象の因果関係を知ることにより、その時代でどのような生活が営まれていたのかを考え追究していく。
- ③ 公民的分野では、学びの内容と時事的な事象をリンクさせ、自分の生活に活かそうとする。

本時では上記の研究主題に迫るための具体的な取り組みとの関連から、1-bと2-aに重点を置き授業を構成する。

1-bでは、KJ法と序列化を行い、思考ツールで考えを可視化することで企業・労働者の解決しなければならない問題を明確にしていく。

2-aでは、株式学習ゲームを通して得た経験と、そこから感じ取った企業イメージや教師の準備した資料を元に課題設定を行い、見通しを持たせていく。整理分析の場面では自分の将来をイメージしながら、企業の在り方についての思考を深めていく。

(5) 本時の展開

過程	学 習 活 動	○評価 ●留意点 ◎手立て				
課題の設定 15分	<p>○株式学習ゲームの途中経過を発表する。</p> <p>○株式学習ゲームを振り返りながら、日本の企業のイメージについてウェビングを用いて、できるだけたくさん書き出す。</p> <p>○書き出した内容について感じたことを発表する。</p> <p>○教師の準備した資料をもとに、日本企業の魅力（プラス面）とマイナス面を資料で確認する。</p> <p>○日本の企業のプラス面とマイナス面を確認することで気づいたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の企業には、解決しなければならない様々な問題がある ・もっといいイメージがあったが残念な感じがする ・このままでは、将来が心配である ・どんな企業に就職すべきなのだろうか・・・ <p>○ 単元の学習課題設定 企業の経済活動はどうあるべきか</p>	<p>○評価 ●留意点 ◎手立て</p> <p>●ワークシート配付</p> <p>●既習事項から考える。</p> <p>●資料のギャップから、生徒の気づきを引き出し、課題設定につなげる。</p> <p>[主] 2-a</p>				
整理・分析 25分	<p>○ 日本の企業の現状を整理するために、「企業の経済活動はどうあるべきか」について、①企業側の「ねがい」②労働者側の「ねがい」に分けて付箋に書き込む。</p> <table border="1" data-bbox="137 1039 1152 1279"> <thead> <tr> <th data-bbox="137 1039 644 1093">① 企業側の「ねがい」</th> <th data-bbox="644 1039 1152 1093">② 労働者側の「ねがい」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="137 1093 644 1279"> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮し、社会に貢献したい ・健康に労働者が働いてほしい ・商品の品質を絶対的に高めたい ・サービスの向上 ・世界進出 </td> <td data-bbox="644 1093 1152 1279"> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス残業なし ・賃金格差をなくしてほしい ・パワハラなくしてほしい ・休みがいっぱいほしい ・リストラなし </td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 企業側と労働者側の「ねがい」の付箋を合わせ類型化し見出しをつける。</p> <p>○ 日本の企業の経済活動において、<u>早急に取り組む必要</u>のあると思われる項目から優先順位（1位～3位）をつけ理由付けを行う。</p> <p>○ 他の班の考えを知るために、歩いて他の班のシートを見る。</p> <p>○ 自分たちの班での話し合いの活動を振り返りながら、他の班のシートを見て感じたことを発表する。</p>	① 企業側の「ねがい」	② 労働者側の「ねがい」	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮し、社会に貢献したい ・健康に労働者が働いてほしい ・商品の品質を絶対的に高めたい ・サービスの向上 ・世界進出 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス残業なし ・賃金格差をなくしてほしい ・パワハラなくしてほしい ・休みがいっぱいほしい ・リストラなし 	<p>●ウェビングを生かし、それぞれ3つ以上書けるように、教科書、資料を確認してもよしとする。企業側を赤、労働者側を青の付箋に書き込む。</p> <p>[深] 1-b</p> <p>●4人組のグループ活動とする。(KJ)</p> <p>●説明役を一人残す。</p>
① 企業側の「ねがい」	② 労働者側の「ねがい」					
<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮し、社会に貢献したい ・健康に労働者が働いてほしい ・商品の品質を絶対的に高めたい ・サービスの向上 ・世界進出 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス残業なし ・賃金格差をなくしてほしい ・パワハラなくしてほしい ・休みがいっぱいほしい ・リストラなし 					
まとめ・表現 10分	<p>○ 各班のシートを見て「企業の経済活動はどうあるべきか」という単元課題に対して、どのようなことを学んでいけば解決できそうなのか（調べたいこと）とその理由を記述する。</p> <p style="text-align: right;">[まとめ]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>一般的に人気のある企業は雇用の面でどのような経営努力をしているのか調べたいと思いました。なぜなら、将来自分の就職にも役立つと思ったからです。</p> </div>	<p>○評価</p> <p>(活動の観察とワークシートへの記述)</p> <p>◎グループで行った KJ シートから言葉をつなげ、文章化できるようにアドバイスを行う。</p>				